

# 公益財団法人 埼玉学生誘掖会

## 第22回（令和6年度）奨学生募集要項

### 1 応募資格

- (1) 東京都内及びその近郊に所在する大学の学部にて在学し、学業・心身ともに優良であり、かつ、学費の支弁が困難と認められる者とする。
- (2) 在学大学の推薦を受けた者（この場合でも、出身高校長の推薦を要する。）
- (3) 埼玉県内高等学校長の推薦を受けた者（この場合でも、在学大学の推薦を受けることが条件となる。）
- (4) 埼玉県出身者の子弟（学費を支弁する父兄の本籍又は居所が埼玉県内にあるか、若しくは過去埼玉県内に本籍又は居所があった者）に限る。
- (5) 令和6年度の新入学生に限るものとし、2学年以上への編入者を除くものとする。

### 2 採用予定数

大学生（短大及び大学院を除き、学部・学科を問わない）5名程度

### 3 奨学金の額

年額250,000円を年2回（7月及び2月）に分けて給与（返還の必要はない。）する。

### 4 奨学金の給与期間

- (1) 給与期間は、入学から卒業までの正規の最短修業年限（学部修業年限の4～6年間）を原則とする。
- (2) 大学が休学を認めた場合は、その休学期間中の給与を停止し、その休学理由が真にやむを得ないと本会が認めた場合は、その停止した期間を復学後の残修業年限に加算することができるものとする。
- (3) 留年等による卒業延期の場合は、最短修業年限をもって給与を停止する。
- (4) 退学した場合は、その時点で給与を廃止する。

### 5 併願・併給の制限

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構との併願・併給は認める。
- (2) 大学が自ら実施する奨学金（特待生等として授業料等を減免する場合を含む。）との併願・併給は認める。
- (3) 地方公共団体、公益法人、その他の団体又は個人が実施する奨学金の場合で、本会と類似する形態の併願・併給は原則として認めない。

## 6 申込み方法

- (1) 奨学生願書（本会所定用紙）
- (2) 小論文（テーマ「大学で学びたいこと」について、2,000字以内）
- (3) 在学学長又は学部長の推薦書（書式・様式任意）
- (4) 出身高校長の推薦書（書式・様式任意）
- (5) 在学証明書（大学の所定様式）
- (6) 高等学校卒業時の調査書（高校の所定様式）
- (7) 保護者の前年度収入金額及びその証明書（給与の源泉徴収書又は所得税確定申告書若しくはこれらに準ずる所得の証明書）
- (8) 締切日 令和6年10月15日必着（本会への必着日であるので、大学窓口への提出期限を確認すること）

## 7 選考と採用

- (1) 審査は書類選考で行う。
- (2) 採用は、選考委員による選考会議を経て理事会で決定する。
- (3) 採否の結果は、11月末までに在学大学経由で連絡する。

## 8 行事への参加

奨学金受給者は、本会が実施する奨学生との懇談会及び研修会等（併せて年2～3回実施）に出席させる。

なお、地方大学の場合であっても、原則として本会行事への出席を求める。

## 9 その他

- (1) 奨学金受給者には、毎年、修学状況についての報告を求め、かつ、成績証明書を提出させる。
- (2) 奨学金受給者は、本会のOB会である「埼玉学生誘掖会舎友会」に入会する。
- (3) 応募関係書類は、一切返還しない。

## 10 連絡先

102-0074 東京都千代田区九段南3-9-11 マートルコート麹町305号室

公益財団法人 埼玉学生誘掖会 理事兼事務局長 やましるひろみつ 山城博光

電話・FAX 共通：03-3262-6013

E-メールアドレス：sadohara@saitama-yueki.or.jp

ホームページ：<http://www.saitama-yueki.or.jp>

令和6年 月 日

公益財団法人 埼玉学生誘掖会

# 奨学生願書

公益財団法人 埼玉学生誘掖会

会頭 保泉 欣嗣 殿

写真貼付  
(上半身・脱帽)

上下 4.5cm

左右 3.5cm

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ (印)

平成 年 月 日生 満 歳 男・女

貴財団の奨学生として採用されたく、所定の書類を添えて申請いたします。

記入した事項には相違ありません。(提出された書類は、一切返却いたしません)

本人現住所	〒 _____ (電話: _____)	
	住居家 屋	自宅 親類 借家 アパート 下宿 寮 その他 ( )
保護者現住所	〒 _____ (電話: _____)	
本籍地 (都道府県のみ)	都・道・府・県 (該当に○をしてください)	
戸籍筆頭者	続柄	
在学大学名	大学 学部 科 専攻1年 (入学 令和6年 4月) (卒業予定 令和 年 月)	
保護者の収入額 (学費支弁者全員分)	1 給与所得者 円 (「源泉徴収票」の支払金額欄) 2 申告所得者 円 (「申告内容確認票B」票の所得金額欄)	
所得証明書類 (該当番号に○)	1 給与の源泉徴収書 2 所得税確定申告書写 (税務署等の受付印又は受領証明がある。) 3 その他 ( )	

## 添付書類

- 1 在学大学の学長又は学部長の推薦書
- 2 出身高等学校長の推薦書 (大学独自の推薦であっても、出身高校長の推薦書を得ること)
- 3 在学証明書
- 4 出身高等学校長発行の調査書
- 5 保護者の収入証明書

(1) 家族の状況 (両親・兄弟姉妹の全部と、同居の祖父母等親族を記入すること)

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業 (学生は学校名/学年を記入)

(2) 家計の状況 (保護者の家計状況と学費支弁困難な状況を差支えない範囲で説明のこと)

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

(3) 現在までの経歴 (職歴のうちアルバイトは、1ヶ月以上継続したものを記入すること)

期間	学歴 (中学以降の学校名) ・職歴 (勤務先名) ・賞罰など
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

(4) クラブ活動及びボランティア活動歴

期 間	活 動 内 容 ( 具 体 的 に )
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

(5) 健康状態 (連続して7日間以上の入院を要した過去の病名・期間など)

期 間	病 名 ・ 治 療 の 経 過 ( 治 癒 か / 現 在 も 治 療 中 か / 後 遺 症 な ど )
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

(各項目の記入欄に不足が生じた場合は、行を分割するか、他の用紙を継足してください)

## 1 自己紹介・分析について

得意学科	
不得意学科	
自己の主義主張 及び生活信条	
趣味・娯楽	
特技・資格	
愛読書など (書籍・新聞・雑誌・その他)	
性格の長所	
性格の短所	
最近興味を覚えた 事柄とその理由	
卒業後の希望進路 又は将来設計	

(記入欄が不足する場合は、他の欄に付記して記入するか、他の用紙で継足してください)

## 2 小論文の提出

「大学で学びたいこと」についての所感文を2000字以内にまとめて別に提出すること。

書式はA4版とし、手書き・ワープロ印字等を一切問わないので、任意な方法でかまわない。